

【 2 】

氏名	井 上 康
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	甲 第 629 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和62年 3 月 31 日
学 位 授 与 の 要 件	医学研究科外科系眼科学専攻 (学位規則第 5 条第 1 項該当)
学 位 論 文 題 目	喫煙の脈絡膜循環に及ぼす影響 第 1 報 吸入直後の変化 第 2 報 ニコチン投与直後の変化 第 3 報 ニコチン長期投与後の変化
論 文 審 査 委 員	教授 中山 沃 教授 堀 泰雄 教授 小倉義郎

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

喫煙の脈絡膜循環に及ぼす影響を知る目的で、煙草の脈絡膜組織血流量に及ぼす急性作用について検討した。さらに一般に煙草煙の成分中、主要な作用物質であるとされているニコチンの脈絡膜組織血流量に及ぼす急性作用について検討した。またニコチンの脈絡膜組織血流量に及ぼす慢性作用についても検討した。実験動物には成熟白色ウサギを用い、脈絡膜組織血流量の測定には水素クリアランス法を用いた。

煙草煙吸入直後およびニコチン投与直後に、脈絡膜組織血流量は一過性に減少した。またニコチン長期投与により脈絡膜組織血流量は変化しなかったが、脈絡膜血管抵抗は増大した。これらの変化は長期にわたる喫煙が脈絡膜循環を障害する可能性を示していると考えた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究はウサギを用い、喫煙及びニコチンの脈絡膜血流量に及ぼす急性及び慢性作用を検討した結果、喫煙は脈絡膜血管の抵抗増大、血流量の減少を起こし、またニコチンも同様の作用があることを立証し、喫煙が脈絡膜循環を障害することを示唆した価値ある研究業績であると認める。

よって本研究は医学博士の学位を得る資格があると認める。